科目名	税務会計論Ｂ　　Tax Accounting B						
科目担当者	大内 健太郎　　ŌUCHI Kentarō						
単位数	２	配当年次	３年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科［区分］ 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	企業に就職した場合、法人税の計算は経理・事務担当となった場合には必須となる知識です。また、法人税の経費に関する考え方は企業で働くうえで必要になるでしょう。 本講義は、前期に学習した税金に関する学習のまとめを行ったうえで、法人税を学習していきます。また、授業において毎回、税金や予算に関連するテーマを与え、小レポートを課します。 定期試験を行います。						
授業の到達目標	①法人税の税務会計計算に必要な基礎知識を学習する。 ②なぜそのような制度になっているのか、その背景を理解する。 ③税の基礎知識を身に付ける。 ④税や予算に関わる社会問題に関して考察する力を身に付ける。						

授業計画・内容		
	1	ガイダンス、税とは何か、税金の使い道など
	2	法人税のあらまし、法人税法における所得、益金の額に算入すべき金額など
	3	損金の額に算入すべき金額、損金の考え方、税務調整など
	4	益金の額の計算①資産の販売など
	5	益金の額の計算②資産の販売等以外
	6	損金の額の計算①棚卸資産など
	7	損金の額の計算②役員等の給与など
	8	損金の額の計算③寄付金など
	9	損金の額の計算④資産の評価損など
	10	損金の額の計算⑤引当金など
	11	損金の計算⑥有価証券など、税額の計算
	12	税額控除
	13	法人税の申告書類
	14	与党の税制改正大綱・次年度の税制改正の方向性について
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	30 分程度、税に関連する事例となるようなニュース等を新聞やインターネット、ニュースなどで探しておくようにしてください。毎回 2 時間程度行っていただくことを想定しています。
授業外学修 (事後学修)	30 分程度、講義中に出てきたキーワードを復習し、説明できるようにしておいてください。毎回 2 時間程度かかるレベルとして設定しています。

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験 毎回の小レポート	50% 50%	①②③④ ①②③④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	経理教育研究会　編『基本税法』株式会社　英光社
参考文献	富岡 幸雄『新版税務会計学講義』中央経済社 中島 茂幸・櫻田 譲『ベーシック税務会計(企業課税編)』創成社
その他	